

国語と共にことばへの関心を高める「小学校外国語活動(英語活動)」

著者	西崎 有多子
雑誌名	東邦学誌
巻	39
号	1
ページ	11-22
発行年	2010-06-01
URL	http://id.nii.ac.jp/1532/00000210/

国語と共にことばへの関心を高める 「小学校外国語活動（英語活動）」

西 崎 有多子

目 次

1. はじめに
2. 小学校国語教科書で学ぶ内容
3. ことばを見つめる
 - 3.1 同じ意味のことばを比較する
 - (1) 挨拶のことば：こんにちは
 - (2) 感謝のことば：ありがとう
 - (3) 一部の外国語が似ていることば
 - 3.2 同じ音のことばを比較する
 - (1) 動物の鳴き声
 - (2) オノマトペ
 - 3.3 ことばと意味
4. おわりに

1. はじめに

2011（平成23）年度から実施される『小学校学習指導要領 外国語活動』の目標は、「外国語を通じて」「コミュニケーション能力の素地を養う」[1] ことであり、ことばとしての英語を教えることではないとされている。しかし、多くの児童にとっては英語という未知のことばに接する最初の機会であり、小学校卒業後に始まる中学での英語学習につながっていく重要な段階を体験することに他ならない。

「外国語活動」は多くの疑問点や現場でのいろいろな困難を抱えながらも、既に全国で実施されている。研究開発校として長年経験を重ねている小学校から、今まで年に数回のみ各市町村の教育委員会から派遣されてくるALTによる歌やゲームの授業しか行ったことのなかった小学校まで、その大きな格差を解消すべく、各小学校において改善や試行錯誤がなされている。小学校の先生方は中学以降の教員と異なり、もともと多くの科目を担当し、創意工夫に富む授業を得意とされている。今回の「外国語活動」の導入は、そのような小学校の先生方の柔軟で高い適応力と現場での努力によって、無理が可能となってきていることを忘れてはいけない。

このような状況の下、学級担任が行う「外国語活動」をより意義深いものとし、児童により興味や関心を持たせるための方法にはどのようなものが考えられるだろうか。他教科との関連を持たせる中で、国語はことばという共通点で、他教科よりも特別な意味を持つと考えられる。既に児童が習得していることばとしての母語と英語との関連に気づかせながら、ことばを興味を持って見つめ、考えることを通して、より豊かな「外国語活動」を行うことが求められる。本稿はそのための試案を提案するものである。

2. 小学校国語教科書で学ぶ内容

国語の授業で学ぶ内容は、児童にとって最も身近で直接的なことばの教育である。国語の教科書の内容を関連付け発展させることにより、国語だけでなくことば自体に児童がより興味を持つことができれば、「外国語活動」に対する動機づけともなると考える。

2011（平成23）年度から『新学習指導要領』に則した教科書が使用されるため、現行の教科書に基づく本稿での内容は、そのままの有効な期間がかなり限られたものになる可能性がある。しかし、現在編集中の教科書は現時点では入手できないため、現行の教科書を資料として用いることとする。移行措置期間の国語科の指導は、学校の判断に任されているため、ローマ字指導等についても、実際には既に3年生に指導している小学校もあると推察される。

小学校国語教科書の例として、ここでは愛知県内、名古屋市、三重県内で採用されている、次の3社発行の教科書（あいうえお順）、『新しい国語』（東京書籍）、『こくご』・『国語』（光村図書）、『ひろがることば』（教育出版）を対象とした。それぞれの教科書にある教材から、以下の視点を中心に上げ、表にまとめた。ただし、これらの授業における具体的な関連付けについては本稿では論じない。

- ・ことばについて考えさせる内容のうち「外国語活動」と関連づけができそうなもの
- ・『英語ノート』と関連のあるもの（*欄の数字1-1は、『英語ノート1』のLesson1を示す。）
- ・お話のうち、英語版の書籍が比較的簡単に入手できそうなもの

(1) 『新しい国語』（1年生～6年生用） 東京書籍

表1 『新しい国語』

* 英語ノート関連箇所

学年	教材名	項目	*
1上	はきはきあいさつ おはよう・はい、どうぞ、ありがとう	挨拶	1-1
	おはなしききたいな（うらしまたろう・ねずみのすもう・ おおかみと七ひきのこやぎ・くわずにようぼう）	お話	
	あいうえおのうた	言葉や文字への関心 音と文字のつながり	
	あめですよ	お話・オノマトペ	
	ふたとぶた	濁音、半濁音	
	わにがわになる	ことば遊び	
	ことばあそび	ことば遊び	
	話したいな、ききたいな	自分について話す	
	ねことねっこ	促音、撥音	
	あひるのあくび	言葉のリズムと音読	
	おばさんとおばあさん	長音の読み書き	
	いしやといしゃ	拗音、拗長音	
	おおきなかぶ	お話	2-8
	かんじのはなし	漢字に対する興味関心	
	かぞえうた	漢数字の二通りの読み方	2-3
ことばあそびうたをつくろう	なぞなぞ ことばあそび うた		

1下	かたかなをかきましよう	外来語	1-6
	わたしのはっけん		
	よう日の漢字	日づけのよみかた 来年のカレンダーを作ろう	2-3
	じゃんけん		1-3
	なんのなかまでしよう	かたかな	
	げきをする、すきなところはっぴょうかい		
	いちばんたいせつなともだち		
2上	おがわのはる	リズムをつけて読む	
	教えてあげる、たからもの	宝物の紹介	
	かたかなで書こう 外国の地名や人の名前、エジプト、外国からきたことば、ものの音やどうぶつの鳴き声	外来語、国名、擬態語、擬声語	1-6
	ふたりはともだち	お話	
	「おもちゃまつり」へようこそ		
2下	名前を見てちょうだい お話の中のことばをかえて音読するクイズ	ことばを楽しむ	
	せかいのかくれんぼ フィンランドのハンターというかくれんぼ インドネシアの「ブンタックウンブット」	国際理解	
3上	すいせんのラッパ	お話・読み聞かせ 擬態語・擬声語・鳴き声	
	どきん	擬態語	
	国語じてんの使い方を知ろう	アルファベット	2-1
	知ってほしいな、自分のこと	スピーチ	
	どちらがすき		1-4
	わたしのお気に入りの場所	説明	2-5
3下	木かげにごろり	世界の民話	
	つな引きのお祭り	お祭りや行事の紹介	
	「こそあど言葉」を使い分けよう	記号・絵文字・手話等	
4上	知らせたい、あんなことこんなこと	スピーチ	
	主語と述語の関係をとらえよう	文の構成を知る	
	ローマ字の表	アルファベット	2-1
	ポレポレ	お話	
4下	世界一美しいぼくの村	スワヒリ語	
	くらしの中の和と洋	異文化理解	
	ローマ字2・ローマ字の表（ヘボン式を含む）	アルファベット	2-1
5上	伝え合おう、五年生でがんばりたいこと	スピーチ	1-4
	動物の体		
	方言と共通語に関心を持とう	ことばへの興味	
5下	マザーテレサ（ナイチンゲール・野口英世）	お話	

6 上	伝え合おう、わたしの意見	スピーチ	
	ことわざや昔の言い方に関心を持つ	ことばへの興味	
	日本の文字に関心を持つ	文字	
	ローマ字の表（ヘボン式を含む）	アルファベット	2-1
6 下	言葉の意味を追って	辞典作り	
	言葉の由来に関心を持つ	和語・漢語・外来語	1-6
	「未来へのメッセージ」を書こう		2-9

[2]

(2) 『こくご』（1・2年生用）・『国語』（3～6年生用）光村図書

表2 『こくご』・『国語』

*英語ノート関連箇所

学年	教材名	項目	*
1 上	おはよう	挨拶	
	かきとかぎ		
	あいうえおであそぼう		
	おむすびころりん	お話	
	「大きなかぶ」	お話	2-8
	かずとかんじ	数え方	
1 下	かんじのはなし	文字への興味	
	かたかな のばすおんのかきかた	音と文字	
	ずうっと、ずっと、大すきだよ	お話	
	日づけとよう日		
	ものの名まえ		
	かたかなのかたち	文字	
2 上	「スイミー」 レオ＝レオ二	お話	
2 下	「お手紙」 アーノルド＝ローベル	お話	
	何がどうした	主語・述語	
	かたかなで書くことば どうぶつのなき声・いろいろなものの音 外国の、国の名前や土地の名前、人の名前 外国から来たことば	外来語	1-6
	音やようすをあらわすことば	擬音語・擬態語	
	ことばであそぼう	ことばへの気づき	
	なかまのことばとかん字	ことばへの気づき	
	「スーホの白い馬」 リー＝リーシアン	お話	
3 上	くわしくする言葉	修飾語・語順	
	道あんないをしよう	説明	
3 下	こそあど言葉	ことばへの気づき	
	漢字と友だち		
4 上	「三つのお願い」 ルシール＝クリフトン	お話	
	ローマ字（ヘボン式を含む）	アルファベット	2-1

4下	言葉遊びの世界 しゃれ・回文・なぞなぞ・なぞかけ クロスワードパズル・言葉のかいだん	ことばへの気づき ことばの楽しみ	
5上	和語・漢語・外来語	外来語	1-6
5下	方言と共通語		
	言葉の組み立て	ことばへの気づき	
6上	日本で使う文字	文字	
6下	熟語の成り立ち		
	わたしたちの言葉	言葉への興味	

[3]

(3) 『ひろがることば』(1～6年生用) 教育出版

表3 『ひろがることば』

* 英語ノート関連箇所

学年	教材名	項目	*
1上	「おおきなかぶ」	お話・読み聞かせ	2-8
	めいしでじこしょうかいしよう	自己紹介	1-4
	かたかなのことばをみつめましょう	外来語	1-6
1下	かたかな かたかなのことばを、なかまごとにあつめましょう ・音やなきごえ ・のりもの ・たべもの	外来語 擬声語・鳴き声	1-6
	みぶりであそぼう みぶりでつたえる みぶりをつかってはなそう	ジェスチャー	1-2
	「お手がみ」 アーノルド＝ローベル	お話・読み聞かせ	
2上	かたかなで書くことば	外来語	1-6
	たからものを知らせ合おう	Show & Tell	2-4
	「きつねのおきゃくさま」	お話	
2下	紙しばい作り	紙芝居	
	音やようすをあらわすことば	擬声語・擬態語	
	はんたいのいみのことば、にたいみのことば	反意語・同意語	
	「アレクサンダとぜんまいねずみ」 レオ＝レオニ	お話・読み聞かせ	
3上	スピーチをしよう	スピーチ	2-4
	インタビューをしよう	インタビュー活動	
	「わすれられないおくりもの」 スーザン＝バーレイ	お話・読み聞かせ	
3下	広い言葉、せまい言葉 まとまりやじゅんじょを考えて	名詞の分類	
	こそあど言葉	ことばへの気づき	
	読書クイズを出し合おう じゅん番にならべよう・かわっているのはどこ だれの物かな・わたしはだれでしょう	クイズ大会	1-7
	くらしと絵文字	絵文字	
	文の組み立て	文型・語順	
4上	楽しいスピーチをしよう	スピーチ	
	ローマ字	アルファベット	2-1

4下	アジアの笑い話	ことばへの気づき	
	点字の表	点字	
	修飾語	ことばへの気づき	
	「ごんぎつね」 新美南吉	お話	
	ローマ字	へボン式	2-1
5上	自分をアピールしよう	スピーチ	2-4
	和語・漢語・外来語	ことばへの気づき	1-6
5下	言葉の種類	品詞	
	ことわざ	ことばと文化	
	日本語を考える	日本語の特徴 日本人の物の見方	
	日本語について調べよう	日本語	
	方言とアクセント 地方によってちがう言葉 アクセントのちがい 方言を使うとき	方言・アクセント	
6上	リレースピーチをしよう	スピーチ	2-4
	言葉のリズムを楽しもう	言葉のリズム	
	敬語 尊敬語・謙譲語	尊敬語・謙譲語	
6下	日本語の文字	日本の文字	

[4]・[5]

3. ことばを見つめる

3.1 同じ意味のことばを比較する

同じ意味を持つ語が、外国語によってどのように異なっているのかを示すことは、児童にとって大きな驚きや発見につながると考えられる。本来同じ意味や同じ音を持つことばを提示して、その相違点からことばへの気づきや興味を促すことができる。以下その具体的な例をいくつか挙げる。

(1) 挨拶のことば：こんにちは

日本語の「こんにちは」の意味の確認も含めて、一般に「こんにちは」と訳されていることばでも、本来の意味はそれぞれ異なっていることに気づくことができる。「こんにちは」を言い合うことの本当の意味は何かを考えさせることもできる。

表4 いろいろな「こんにちは」

外国語名	表記	読み方	本来の意味
日本語	こんにちは。	こんにちは	「今日はよいお天気です」などの後ろの部分が省略されたもの。
英語	Hello.	ハロー	(こんにちは)
フランス語	Bonjour.	ボンジュール	bon=よい jour=日
ポルトガル語	Boa tarde.	ボアターヂ	boa=よい tarde=午後
スワヒリ語	Jambo.	ジャンボ	(こんにちは)
中国語	你好	ニイハオ	你=あなた 好=健康などがよい あなたはお元気ですね
ロシア語	здравствуйте	ズドラーストヴィチェ	(朝昼晩いつでもつかえる挨拶)
韓国・朝鮮語	안녕하세요	アンニョンハセヨ	安寧=機嫌よい ハセヨ=~なさる 安寧でいらっしゃいますか

[6]・[7]

(2) 感謝のことば：ありがとう

いろいろな国の「ありがとう」を知っていると、どういう利点があると思うかを児童に考えさせながら、いろいろな「ありがとう」を知る機会を作る。自分が外国人に日本語で「ありがとう」と言われたらどう思うだろうかを想像させることによって、外国でその国の「ありがとう」を使ったり、外国人にその国のことばで「ありがとう」を伝えることができたかどうかを考えさせることもできる。

表5 いろいろな「ありがとう」

外国語名	表 記	読み方
英語	Thank you.	サンキュー
フランス語	Merci.	メルスイ
スワヒリ語	Asante.	アサンテ
中国語	谢谢	シェシェ
ロシア語	Спасибо	スパシーボ
スペイン語	Gracias.	グラスィアス

[7]

(3) 一部の外国語が似ていることば

「ともだち」を意味する単語の中で、フランス語のamiとスペイン語のamigoが似ていることに気づくことにより、その理由を考えさせることができる。フランスとスペインの位置関係、ことばの歴史などへの広がりを持たせることもできる。

表6 「ともだち」

外国語名	表 記	読み方
英語	friend	フレンド
フランス語	ami *	アミ
スワヒリ語	rafiki	ラフィキ
中国語	朋友	ポンヨウ
ロシア語	друг	ドルーク
スペイン語	amigo *	アミゴ

[7]

上記の「ともだち」に加えて「花」を意味する単語を比べると、英語のflower、フランス語のfleur、スペイン語のflorが似ていることに気づくことができる。他にも似ていることばがあるかもしれないと興味を広げることができる。

表7 「はな」

外国語名	表 記	読み方
英語	flower *	フラウア
フランス語	fleur *	フレウール
スワヒリ語	ua	ウア
中国語	花	ホワ
ロシア語	цветок	ツヴェトク
スペイン語	flor *	フロル

[7]

「おとうさん」と「おかあさん」を意味することばは、それぞれとても似通っていることに気づかせ、特に「おかあさん」を意味することばに共通する特徴（マ行で始まること、両唇音は赤ちゃんが最も発声しやすい）について、推測させることができる。世界中の赤ちゃんにとって、同じ理由で「おかあさん」を意味することばができており、それは世界で共通していることに気づかせる。

表8 「おとうさん」・「おかあさん」

外国語名	おとうさん		おかあさん	
	表 記	読み方	表 記	読み方
英語	father	ファザー	mother	マザー
フランス語	pere	ペール	mere	メール
スワヒリ語	baba	ババ	mama	ママ
中国語	爸爸	パーパ	妈妈	マーマ
ロシア語	отец	アチェーツ	мать	マーチ
スペイン語	padre	パドレ	madre	マドレ

[7]

3.2 同じ音のことばを比較する

(1) 動物の鳴き声

世界共通のはずの動物の鳴き声が、それぞれのことばでどのように表現されているのか、いろいろな鳴き声の表現を聞いて、どの動物や鳥の鳴き声かを聞き分けることはできるのかを考えたり、クイズ形式で提示することもできる。同じ音を聞いても、感じ方が微妙に異なり、それを表すことばも異なることを知る。日本人の感覚と近いことばや何の鳴き声か想像できないことばがあることにも気づく。

表9 「にわたりの鳴き声」

外国語名	表 記	読み方
英語	cockadoodle-doo	カカドゥドルドゥー
フランス語	cocorico	ココリコ
スワヒリ語	決まりことばはない	ー
中国語	喔喔喔	オオオー
ロシア語	(省略)	クカレクー
スペイン語	quiquiriqui	キキリキ

[7]

(2) オノマトペ

日本語は擬音語や擬態語に富む言語である。国立国語研究所によると、日本語は韓国語に次いで世界で2番目に擬音語・擬態語が多く、国語辞典などでの調査によると、約2,000語以上あり、日常よく使われているのは400~700とされる。[8]

英語にも擬音語があるが、日本語の擬音語と英語の擬音語の表現のどちらが、実際の音と比べて似ているか、子どもたちはどう判断するだろうか。英語における擬音語や擬態語は日本語のそれに比べて少ないが、その代わりにそれらの意味を内包する動詞の種類を増すことで表現の豊かさを保っている側面がある。比較的よく用いられている英語の擬音語は以下のようなものである。

表10 日本語と英語のオノマトペ

音の出る状況	日本語での音	英語での音	英語の綴り
笑い	あはは	ハーハー	ha-ha
痛み	痛っ！	アウチ	ouch
うなずき	うん	アハ	uh-huh
つまづく	おっと	ウープス	oops
壊れる	ガシャン	クラッシュ	crash
いびき	グーグー	ズー	zzz
時計	チクタク	ティックタック	tick-tock
鈴	チリンチリン	ティンガリング	ting-a-ling
飲む	ゴクゴク	ガルブ	gulp
ぶつかる	ドスン	バンブ	bump
くしゃみ	ハクション	アチュー	ahchoo
水	パシャ	スブラッシュ	splash
拍手	パチパチ	クラップ	clap
銃声	バン	バング	bang
クラクション	ブー	ビーブ	beep
虫	ブンブン	バズ	buzz
自転車のベル	リンリン	リング	ring

[9]

国立国語研究所では、日本語の擬音語と擬態語をカテゴリー別に分けて、ウェブサイトに掲載しており、それを編集して以下の表にした。オノマトペが日本語の表現をどれだけ豊かにしているか改めて感じることができる。それぞれの音がどんな時の何の音なのか、意見を出し合ってみることもできる。こんなに多くのオノマトペを知らないうちに使いこなしていることに改めて驚くと同時に、日本語の豊かさを確認することができる。

表11 日本語のオノマトペ

<p>いろいろな音・声</p> <p>がたがた・がやがや・からから・がらがら・がんがん・ぎりぎり・ぐずぐず・げらげら・ころころ・ごろごろ・ざあざあ・さらさら・ざらざら・だぶだぶ・つるつる・どきどき・どんどん・ばらばら</p>
<p>物の動きやようす</p> <p>がたがた・からから・がらがら・がんがん・きちんと・ぎっしり・きっちり・ぎりぎり・きらきら・ぐっと・くるくる・ぐるぐる・ごちゃごちゃ・ころころ・ごろごろ・ざあざあ・さっと・ざっと・さらさら・ざらざら・しっかり・すっきり・ずらり・ずるずる・そっくり・たっぶり・ちゃんと・つるつる・どんどん・ぬるぬる・ねばねば・のろのろ・ばたばた・はっきり・はらはら・ばらばら・ぴかぴか・びったり・ふっくら・ぶらぶら・ぺこぺこ・べらべら・ほうっと・ぼろぼろ・めちゃくちゃ・ゆっくり</p>
<p>人や動物の動きやようす</p> <p>あっさり・うっかり・うろうろ・がたがた・がやがや・からから・がらがら・がんがん・きちんと・きっぱり・きらきら・ぎりぎり・くすくす・ぐずぐず・ぐっすり・ぐっと・げっそり・げらげら・ごちゃごちゃ・こっそり</p>

ころころ・ごろごろ・さっと・ざっと・さっさと・さらさら・しっかり・じっくり・じっと・じろじろ・すっきり・すっと・すらすら・ずるずる・そっくり・そっと・そろそろ・ぞろぞろ・たっぷり・たぶだぶ・ちゃんと・つるつる・どっと・どんどん・にこにこ・にやにや・ぬるぬる・のろのろ・のんびり・はっきり・ぱったり・ぎっしり・ぱっと・ばたばた・はらはら・ばらばら・びったり・ふっくら・ふらふら・ぶらぶら・ぶるぶる・ぺこぺこ・べらべら・ぼんやり・ぼろぼろ・もりもり・ゆっくり・よろよろ

人の感覚や気持ち

あっさり・いらいら・うっかり・うんざり・がっかり・さっぱり・さらさら・ざらざら・しっかり・じっくり・じっと・すっきり・すっと・つるつる・どっと・どきどき・ねばねば・のんびり・はっきり・ぱっと・はらはら・びっくり・ふと・ぼうっと・ほっと・ぼんやり・むかむか・わくわく

[10]

3.3 ことばと意味

ことばを使いこなすということの中には、語彙を増やしたり、文法を学んだりすること以外のことが含まれている。単語を組み合わせて発話しても、その発話の表す意味は個々の単語の意味そのままを組み合わせたものとは限らない。つまり、文字や単語の表面と本当に意味していることが異なっていることは実はとても多いといえる。ことばをつかって嘘を言うことさえできるのである。

児童の多くは、日頃自分が言いたいことを伝えている時に、無意識に表面上別のことばを使っている場合があることをまだ認識していないだろう。一日の会話を振り返り、自分が実際に言ったことばとその意味しているところを考えさせることは、彼らにとってとても興味深いことであると考えられる。

例えば、朝なかなか起きることができない時、家族は何と言って起こしてくれるだろうか。「朝だよ。」ということばを考えても、そこにはどこにも「起きなさい」という単語は入っていないことがわかる。「いつまで寝ているの!」と言われた場合も同じである。しかしいずれのことばを言われた場合も、子どもたちは自分が早く起きるように言われていることを即座に理解しているはずである。このような例をたくさん挙げ合うことによって、ことばの面白さに気づくことができる。

このことは、日本語に限らず、英語にも同じことがいえる。買い物に行った先で、袋が欲しい時に“Do you have a bag?”と聞くと、店の人は(袋があれば)“Sure.”などと言いながら、袋を渡してくれるのは、「袋ありますか?」と尋ねる日本と同じである。

4. おわりに

「外国語活動」の目標である「コミュニケーションの素地の育成」は、本来国語で達成する目標であり、限られた内容、語彙、時間数で実施する「外国語活動」で達成するのは難しいことは否定できない。新しく学ぶ英語だからこそできるコミュニケーションもあるだろうが、文法上の誤りの指摘や訂正も控える前提での「外国語活動」には、児童に危うさを与えたまま中学英語につながるを得ない現実もある。また、小学校で学ぶ国語の内容には、ことば自体の楽しさや不思議さに気づく内容が少なく、「外国語活動」と相乗的教育効果を上げるためにも、少し視点を変えた内容があれば、より豊かなことばの教育が可能になるだろう。

学級担任が行う「外国語活動」には、児童が国語と共にことばへの関心を高め、いずれの科目に対してもより興味を持って取り組める可能性がある。本稿では、主に文法に関する事柄を含むことばの気づきについての本論とも言うべき項目まで扱うことができなかった。それについては、次稿で論じることとした。

引用文献

- [1] 文部科学省『新学習指導要領』2008年
- [2] 『新しい国語』東京書籍、2005年
- [3] 『こくご』・『国語』光村図書、2005年
- [4] 『ひろがることば』教育出版、2005年
- [5] 西崎有多子『小学校英語を考える』三恵社、2009年、pp.23-25.
- [6] 文部科学省『英語ノート 1 指導資料』p.22.
- [7] 戸田やすし『世界のことばあそびえほん』戸田デザイン研究室、2003年
(表4～表9は引用ならびに一部筆者が編集して作成した。文献にページ数の記載がないため、すべてまとめて
[7] とさせて頂く。)
- [8] 国立国語研究所 ウェブサイト
(<http://dbms.kokken.go.jp/nknet/Onomatope/category.html#iroiro>)
- [9] 前掲書 [5] pp.5-6.
- [10] 前掲書 [5] pp.6-7.

参考文献

- 大津由紀雄『小学校での英語教育は必要か』慶応義塾大学出版会、2004年
- 大津由紀雄『小学校での英語教育は必要ない!』慶応義塾大学出版会、2005年
- 大津由紀雄・窪蘭晴夫『ことばの力を育む』慶応義塾大学出版会、2008年
- 大津由紀雄『菅正隆教科調査官への惜別の辞』関東甲信越英語教育学会埼玉大会、2009年
- 大津由紀雄ほか『慶応義塾大学言語教育シンポジウム「ことばの力を育む」授業の展開ーみんなで探ろう、
小学校英語活動への対処法ーハンドブック』2009年
- 小島義郎『日本語の意味英語の意味』南雲堂、2002年
- こどもくらぶ編『いろいろな国のオノマトペ』旺文社、2008年
- 小山内大『<クイズ>英語生活力検定2』大修館書店、2009年
- 穴戸通庸ほか『表現と理解のことば学』ミネルヴァ書房、1996年
- 白畑知彦ほか『英語習得の「常識」「非常識」第二言語習得研究からの検証』大修館書店、2007年
- 泉子・K・メイナード『ていうか、やっぱり日本語だよ。』大修館書店、2009年
- マイケル・トマセロ『ことばをつくる』慶応義塾大学出版会、2008年
- 鳥飼玖美子『危うし! 小学校英語』文芸春秋、2006年
- 森山卓郎『国語からはじめる外国語活動』慶応義塾大学出版会、2009年

受理日 平成22年4月5日

